



福岡藩黒田家伝来

# ここまでわかった「塩竈・松島図屏風図」の謎

福岡藩黒田家に伝わる豪壮華麗な「塩竈・松島図屏風」について、最新の学術調査を踏まえ、その伝来の謎や、描かれた文物の詳細に迫ります。

日 時：平成31年 **1月19日** (土) 14:00～16:45 (開場13:30)

講演会 14:00～16:00 (講演と懇談)

茶話会 16:15～16:45 (講師の方々との茶話会)

場 所：旧ゑびや旅館2階 (塩竈市本町3-9・御釜神社前)

講 師：宮野弘樹 福岡市博物館学芸員

コーディネーター：斎藤善之 東北学院大学 経営学部学部長

受講料：600円 (資料・茶話会費、定員40名・予約者優先)

予 約：海商の館 亀井邸 (☎ 022-364-0686) 10:00～15:00 火・水・木休み

カフェはれま (☎ 090-4557-1671) 11:00～18:00 水・木休み

フェイスブックでも受け付けます (「みなとしほがま」で検索)

※塩竈・松島図屏風 (八曲一双) 福岡市美術館蔵

黒田家に伝来した豪壮華麗な八曲一双の屏風。塩竈、松島の風景が良質の顔料で細部まで鮮やかに描かれている。塩竈神社は、本殿などの様子から、伊達政宗による慶長12年 (1607年) の造営後の様子を伝えていると考えられている。また、お供の船を従えた御座船で釣りをするお殿様と思われる姿も描かれている。塩竈・松島を描いた名所風俗図屏風の代表作とされるが、その伝来や制作年代などは詳らかではなかった。今回の講座ではこれらの謎に迫る。

(講演会当日は「塩竈図」部分を縮小 (0.9m×1.8m) したパネルを展示する)



主催：(特非)NPOみなとしほがま・塩釜商工会議所

※この事業は、兵庫県民の皆様の義援金を原資とした「宮城県津波被災地域交流拠点施設整備事業」を活用して実施しています。

塩竈・松島図屏風 (右隻の一部) (福岡市美術館蔵)